

実践型インターンシップ・複業人材の導入に向けた

第７回企業説明会

黒部市では2023年２月より実践型インターンシップを導入し、これまでに市内企業16社と県外学生32名が参加しました。2026年2月から始まる7期目の受入れ企業の募集に先立ち、「実践型インターンシップ」、「複業人材の活用」の導入効果などを中心に、外部人材受入れについての理解を深めるため、説明会を開催します。

2025年10月29日(水)14:00～16:00

くろべ市民交流センターあおーよ多目的ルーム206

14:00～14:15　事業概要説明（黒部市長　武隈義一）
「実践型インターンシップ・複業人材の導入について」

14:15～14:30　受入れ企業からの経験談（2025年夏インターンシップ受入れ企業）
東栄土木株式会社　代表取締役　坂本　久享　氏
有限会社ダイサン大丸水産　代表取締役社長　大丸　総子　氏

14:30～16:00　基調講演　一般社団法人わくわくスイッチ　中村　憲和　氏
題目：「人手不足？」本当に足りないのは“人材”ではなく“仲間”だった

主催　黒部市地域協働課
問合せ先　黒部市地域協働課　人材支援係
TEL：0765-54-1272
メール：chiikikyodo@city.kurobe.lg.jp

右のQRから
お申込みください
10月28日(火)締切

基調講演

題目：「人手不足？」本当に足りないのは“人材”ではなく“仲間”だった



一般社団法人わくわくスイッチ
代表理事　中村　憲和　氏

大学卒業後、飲食業にて店舗運営・立ち上げ業務を経験。「なぜ日本には夢や自信のない若者が多いのか？」という問いを原点に、教育の力で未来を変えることを決意。以降約10年間、大阪・新潟・仙台・岐阜・広島など全国各地でインターンシップ事業や採用支援事業の立上げに携わる。2015年には三重県にて「一般社団法人わくわくスイッチ」を設立。これまでに約100件の事業開発・組織開発プロジェクトをコーディネートし、年間約500名の若者に向けたキャリア開発プログラムを実施。

何か新しいこと、面白いことをしたいと思う経営者の皆様、この機会にぜひご参加ください！

第６回実践型インターンシップ活用事例



※どやまらんど
明日キャンプ場



※開催したイベントの様子

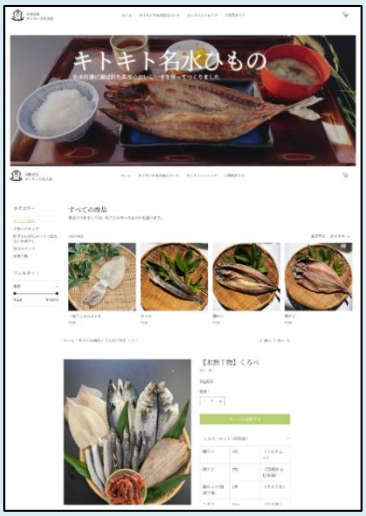
東栄土木株式会社

SNSを駆使した企業広報＆キャンプ場のイベント企画

SNSの新規アカウントを開設して、情報発信の形を整理し、キャンプ場の魅力を効果的に届ける工夫を実践。さらにイベントを開催し、利用者の反応を検証しました。結果として設定した目的・KPIをすべて達成し、SNS経由の予約も増えるなど、学生の柔軟な発想力と行動力が成果につながりました。

受入れ企業の声

短期間ながらSNSでの発信も形になり、イベント企画も実行できたことは大きな成果です。反省点もありましたが、それ以上に多くの学びを得られた貴重な機会でした。



※新規作成したHP



※リニューアルした
道の駅の販売ブース

有限会社ダイサン大丸水産

新規HP作成＆販売促進による売上アップ

20年以上前に作成した旧HPを全面リニューアル。自社で運用・更新が可能となり、スマホ対応やSNS連携、オンラインストアへのスムーズな導線を整備し、ユーザーの利便性と訴求力が大きく向上しました。さらに干物の新しい調理方法やキャラクター開発など独自のPRを展開。道の駅では販売ブースを刷新し、売上は前年同月比約3割アップを達成しました。

受入れ企業の声

学生お二人が主体的に課題を見つけ、行動に移す姿勢は非常に心強く、私たちの期待を大きく超える成果を残してくれたと感じています。